



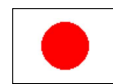
令和7年

10月号

発行所
生長の家 長野県教化部
〒390-0862
松本市宮沢3-7-35

発行人
生長の家 長野県教化部
代表 山岡 睦治
編集人 長谷尾美眞貴
(1部 40円)

Tel (代) 0263-34-2627
FAX 0263-34-2626
白鳩会 0263-34-2625



祝日には
国旗を掲げて
奉祝しましょう!



あなたの愛で
自然を守ろう
大自然の恩恵に
感謝しましょう

ラジオ風ネットフォーラムの

誕生秘話



教化部長 山岡 睦治

紙媒体の『しらかば』十月号には、本校内に総裁・谷口雅宣先生の新刊書『二百字日記1』より10月9日の日記文を掲載させていただきました。国際本部からの著作権に関する指導により、PDF媒体での先生のご文章の掲載が禁止されていますので、ここでは割愛させていただきます。

長野教区の青年会では、青年向けのネットフォーラムを開催しています。私が講師となつて開催した六月の同フォーラムの時、**NO.1** (オンライン会議システム) の画面には通常、参加者の顔が写るのですが、顔の表示がまったくなく、「耳だけ」(顔は出しませんという意思表示) が並びました。また、講話が終わったとき、感想や質問を聞きたいと思い、司会者に「どなたか指名して、感想を」というと、「それもしないことになっています」という答えでした。

私は、ネットフォーラムは顔を出すことは当たり前で、講師の一方的な話だけではなく、皆さんの感想も知りたいと思ったのですが、それは断念しました。さて、どうしたものか。次回のネットフォーラムの

企画会義に出席したおり、降りてきたのが、「耳だけ参加」が今の青年の感覚ならば、「いっそラジオ番組風にしよう」というアイデアでした。謳い文句は、
・顔出し不要
・感想を求めません
・途中退出自由
などです。

内容は、総裁・谷口雅宣先生のポッドキャストの「伸びゆく日々の言葉」シリーズから一話を聴いたあと、私が講師というより、ラジオのパーソナリティとなつて、リスナーからの質問に答えたり、青年に関心のある話題を取り上げて教えるの話しをするという形で進行しています。
このラジオ風ネットフォーラムを七月、八月と開催したところ、反応は概ね好評でした。「気軽に聴ける」「畑で聴いた」など。

谷口純子先生は、ご著書『夢の地平線』の中で、「私たちの目の前に起こる出来事は、必ず何かを教えてくれている」(五二頁)と書かれています。このように、青年のネットフォーラム参加者から「顔出しはしない」「感想は言わない」ということを教えられたと受け止めたことで、ラジオ風スタイルというアイデアが誕生したのでした。

シーオーツーそう聞こえたり法師蟬

連山

【告知板】

十月の「ハーブカフェ」(長野県教化部)の開店日
◆十一日(土)
午後一時〜三時

十月の「ラジオ風ネットフォーラム」の開催日
◆二十七日(月)
午後一時三〇分〜二時一五分

白鳩会

定期役員改選にあたって

白鳩会教区連合会長 小松 智子

合掌 ありがとうございます
す。

教区連合会長を拝命いた
しましてから三年、会員幹
部の皆様方には真心なるご
活躍とご支援を賜りました
こと心より御礼申し上げます。

この度の定期役員改選で
は立候補制が導入されるこ
とになり私自身、幾度とな
く起つことを躊躇しました
が、皆様の熱い運動への思
いや温かい助言に背中を押
され、立候補を決意、白鳩
会員の皆様からの信任を戴
きまして、この度二期目の
教区連合会長を拝命させて
いただくことになりました。
なにぶんにも至らず、意に
添えないことが多々あるか

とは思いますが、引き続き
皆様の温かいお力添えを賜
りますようよろしくお願い
申し上げます。

また、地域各組織におき
ましても役員の交替と引き
継ぎが行われ十月より新体
制が発足する運びとなりま
した。

これから、山岡教化部長
のご指導のもと会員、幹部
の皆さまと共に心を合わせ、
生長の家の運動が一層伸び
広がることを祈り、明るく
喜びをもって前進してまい
ります。何卒よろしくお願
い申し上げます。



相愛会

無(一)から有(十)へ

松本相愛会 大和 光男

合掌 ありがとうございます
す。

松本市内で長年、営業し
ましたが閉店して中央地区
から教化部会館と同標高の
所に引越して六年目とな
りました。西方に北アルプ
スを展望出来て良い景色で
す。大感謝なり。

さて昨年十一月、小生自
動車運転歴六十年になるが
慣れた十字路を一時停止不
注意で首の痛みを気にして
よく確認せずに直進して衝
突してしまいました。幸い
保険で円満解決す。結果、
車は廃車にして免許証は返
納致しました。よく母が人
に「ハンドル様 大事に！」
と言っていました。又助手
席の妻が言う「常に大通り
は真つすぐの道を行くよう
に」とその注意を聞きませ
んでした。又、その日は妻
のありがたき父親の月命日

でもありました。これも相
手の運転手様、同乗の方を
全て「観世音菩薩」様の教
えと合掌させていただく次
第であります。

今は、低炭素の生活法の
実践をと宜しく徒歩と自転
車、バスそしてタクシーを
利用したり、会員様や知人
のお車に便乗させていただ
きまして誠にお世話様に相
成っております。

「無(なし)」となり始めて
分かる有難さ」
「土・日の六時の祈りあり
難き」
捨てることで自由を得る祈
り(「『日々の祈り―神・

自然・人間の大調和を祈る」)
ただいまは『飛鳥讃歌』を
我が心として読誦して参り
ます。

又改めて日常の生活の中
で断・捨・離を実践する事
を決意致しました。

俳壇

転がる南瓜
個性たつぷり
そのままで

倭

草むらに
生れつ隠れつ
蛭蝶

倭

色づきし
街路樹の葉に
日の透けて

洋子

空を染め
秋の夕暮れ
にじみゆく

洋子

※随時、皆様からの
投稿をお待ちしています。

(投稿は編集部宛)

講師会

母を詠む

地方講師

斉藤 洋子

私は、これまでの人生で、
三人の母と出会うことがで
きました。

生母は、昭和六十年に昇
天致しました。

○生母によせての近詠

吾れ編みし母の

遺句集ひらく時

自然を読みし

おもかげうかぶ

私は、母に対して頑なに
心を閉ざしていた時期にも
(生長の家の御教えのおか
げで、今はただただ感謝の
みの思いです) 母の俳句を
作っている姿だけは好きで
した。植物をはじめ自然を
愛し慈しんでいた母でした
ので、それが俳句にも繋がっ
ていたのではないかと、今
も折にふれてはなつかしむ
私です。

継母は、平成三十年に昇
天致しました。

○継母によせての近詠

子ども等を預けし時の

母の言う

口ぐせはいつも

「にぎやかが好き」

子どもが好きで、子どもが
幼き頃、ことに次男出産時
には長男を預かってくれた
り、次男誕生後も折にふれ
二人の子どもの面倒をみて
くれたりした事は、忘れら
れない思い出です。

義母は、平成三十一年に
昇天致しました。

○義母を詠みて (二十五年
前に詠みました)

今日もまた母は畑に

いでにけり

土に生くるを

糧とすごとく

野菜作りが上手で、我家の
食卓と心を潤してくれまし
た。そして、幸せな介護を

させて頂き、大きな生きる
力にもなりました。

今後も、生母の縁から出
会えた生長の家の信仰を支
えに歩んでゆきたいと思っ
ています。

奉納御礼

りんご 嶋田 早苗

お菓子 猪俣マリア

ぶどう 栗林 邦子

お菓子 江川・アラシ・日出美

野菜 塚原 好男

フルーツ 白鳥 美代

お菓子 折橋 操子

おはぎ 土屋 好正

お菓子 小澤 俊治

(敬称略)

9月秋季慰霊祭・先祖供養祭

小泉 房子 山岡 睦治

大和千恵子 折橋 政市

小松 智子 小澤 俊治

手塚香おる 平谷美佐子

鈴木 厚子 等々力逸恵

丸山 仁子 平谷美佐子

(敬称略)

◇ご奉納ありがとうございます

ございました。

歌壇

さくさくと草刈る音のさわやかさ

やれば出来るの吾もさわやか

村田 雪子

夫病みて畑仕事のままならず

離り住む息子ら折々に来る

太田喜栄子

杖をつきやふやふ畑に立てる夫

家族ラインに写メールをす

太田喜栄子

今は亡き姉に連れられ練成会に

学びを頂く二十余年前

牛山よしみ

学びしみ教へを心に置きて

あれから今に感謝にて生く

牛山よしみ

栗の実の落つる音吸うしずけさの

街つつむ朝に秋はにじみて

斉藤 洋子

露しげくおりたる秋の田に入れば

土のいきづき静かにつたえ

斉藤 洋子

※随時、皆様からの投稿をお待ちしています。

(投稿は編集部宛)

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	日
金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	曜
			10時谷口清超大聖師17年祭 〔森の中のオフィス〕	13時半青年会ラジオ風ネットフォーラム	10時（白）地区連長担当部長会議	13時（講）研修会						自然の恵みフェスタ＆オープン食堂	10時半先祖供養祭／フェスタ準備					【スポーツの日】	11時長野自然林散策（茅野平）		13時半（講）推進部会		13時（白）正副会議	13時半青少年育成会議	10時職員会議	10時五者会議	10時半生教会ネットフォーラム	16時（送）役員会	13時半聖使命会感謝奉納祭NF／聖使命会議	10月行事予定	
	休館日							休館日						休館日				休館日				休館日									

教化部早朝行事(オンライン)

スマートフォンから入れます。

神想観

讃歌読誦

4日(土)

塚原 好男

小口 壽子

5日(日)

小松 智子

栗林 邦子

11日(土)

教化部長

鈴木 厚子

12日(日)

北原 理恵

太田喜榮子

18日(土)

小松 一教

斉藤 洋子

19日(日)

大和 光男

小泉 房子

25日(土)

教化部長

長谷尾美眞貴

26日(日)

塚原 好男

手塚香おる

※開催時間は6時からです

ラインで配信しています。参加希望の方は
教化部までご連絡下さい。

讃歌読誦：『聖使命菩薩讃偈』
『飛鳥讃歌』

誌友会のご案内

10月誌友会

日程	支部・地区	会場
29	臥竜	須崎市勤労者研修センター
21	小諸	塚原 静子 様宅
未定	常念	丸山 仁子 様宅
未定	島内	濱 洋子 様宅
17	伊那	未定
9	岡谷	地元公民館

★次の方々の「聖魂」が新たに生長の家総本山龍宮住吉本宮の宝筐に奉安され、生長の家の大神より永遠の祝福を受けることになりました。

護持会員(敬称略)

常念 2名
桔梗 1名

聖使命会入会・昇格
おめでとうございます

幸福への近道は
神さまとつながる
聖使命会員に！

「日時計主義」の生き方を実践！
谷口純子先生監修 生長の家白鳩会総裁

日時計日記
2026年版

明るい言葉を書き続けること
で、その言葉の力によって、
毎日が明るく充実してきま
す。カレンダーページには
「季語の紹介」を掲載。

▼B6判
上下巻セット
紙ケース入り
▼1100円
▼生長の家刊

